



地域の宝「仁淀川」での観光事業について

平成25年2月8日

株式会社 屋形船仁淀川
代表取締役社長 田中 覚



経緯

- 平成22年 10月、屋形船を購入、自社にて改修
- 平成23年 1月11日、(株)屋形船仁淀川を起業
- 平成24年 3月 水面利用等の協定を日高村商工会と仁淀川漁協間で交わす(日高村が立会人)
- 平成24年 5月 運航開始



動機

- 流域住民の宝である
仁淀川を売り出したい

目的

- 仁淀川の知名度向上及び
日高村の観光振興

強み

- 仁淀川唯一の屋形船

弱み

- 集客力



取組の現状と成果

- 平成24年5月 運航開始
 - ・屋形船1隻(定員10名)
- 平成24年8月 地元花火大会の開催
 - ・地元花火大会の会場となる
(屋形船の運航に伴い7年ぶりの復活)
- ◆ 運航開始から約8カ月での乗船者数
 - ・約1,600人(想定の3倍)
- 平成24年度高知県地場産業大賞・地場産業奨励賞受賞



仁淀川能津花火大会



今後の展開と課題

- ホームページ、ブログの再構築
 - ・インターネットのPR効果大きい
- 施設整備の検討
 - ・運休時の集客及び立ち寄り客の確保



ご清聴ありがとうございました

